

105-167

問題文

患者が訴えている症状が寛解した後、その症状の再発を予防する目的で投与される薬物に関する記述のうち、最も適切なのはどれか。1つ選べ。

1. キサンチンオキシダーゼを阻害し、尿酸生成を抑制する。
2. 腎尿細管において、尿酸の再吸収を抑制する。
3. 尿酸をアラントインと過酸化水素に分解する。
4. シクロオキシゲナーゼを阻害する。
5. チュブリンと結合して微小管重合を阻害し、好中球の遊走を抑制する。

解答

問167：4問168：1

解説

問167

痛風発作と考えられます。患者が訴えている症状とは、右足母趾の腫れと痛みです。痛みを抑え、腫れをひかせることを狙いとして処方される薬物として、NSAIDs が考えられます。

選択肢 1 ですが
フェブキソスタットは、キサンチンオキシダーゼ（XO）阻害薬です。

選択肢 2 ですが
ベンズプロマロンは尿酸排出促進薬です。

選択肢 3 ですが
メトホルミンはビグアニド系薬です。肝臓での糖新生の抑制や糖利用促進などを介して血糖を低下させます。

選択肢 4 ですが
ナプロキセンは、酸性 NSAID s です。短期間に大量投与することにより痛みを抑制します。これが妥当と考えられます。

選択肢 5 ですが
アトルバスタチンは、脂質異常症治療薬です。

以上より、問 167 の正解は 4 です。

類題

問168

痛風発作症状の寛解後、再発予防目的なので、高尿酸血症治療薬が投与されると考えられます。

高尿酸血症治療薬は大きく、尿酸生成抑制と、排出促進薬の2つに分類されます。本患者では、左腎結石が認められているため、排出促進薬を使うと、尿路結石等のリスクが高くなることが考えられます。そのため、尿酸生成抑制薬の投与が妥当です。

尿酸生成抑制薬の代表例はアロプリノールです。アロプリノールはキサンチンオキシダーゼ（XO）阻害薬です。

以上より、問 168 の正解は 1 です。

類題